

平成29年10月25日  
四国地方整備局道路部中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス  
道の駅「にしいや」・かずら橋夢舞台を拠点とした自動運転サービス  
第1回地域実験協議会を開催します！

国土交通省では、高齢化が進行する中山間地域における人流・物流の確保のため、道の駅など地域の拠点を核とする自動運転サービスの導入を目指し、今年9月より、実証実験に着手しています。

今回、主にビジネスモデルの検討を行うための「公募型」実験地域として選定された道の駅「にしいや」・かずら橋夢舞台を拠点とした自動運転サービス実証実験の実施に向け、実験実施計画の検討、実験の実施及び実験結果の検証等を行うことを目的として「地域実験協議会」を設置し、その第1回協議会を開催します。

**1. 設置趣旨**

道の駅「にしいや」・かずら橋夢舞台を拠点とした自動運転サービス実証実験を円滑かつ効果的に実施するため、実験実施計画の検討、実験の実施及び実験結果の検証等を行うことを目的として、地域実験協議会を設立します。

**2. 日時**

平成29年10月27日（金） 13:00～14:00（予定）

**3. 場所**

三好市保健センター 多目的ホール（徳島県三好市池田町字シンマチ1476番地1）

**4. 議事**

- （1） 実証実験の概要
- （2） 実験車両の説明
- （3） 今後の実証実験に関する意見交換

※会議は、報道機関に限り公開とします（カメラ撮りは冒頭のみ）。

ただし、（3）では地元及び関係機関との調整前のルート選定等を取り扱うため非公開とします。

本実験は、戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）のプロジェクトの1つとして実施するものです。

問い合わせ先 （○主な問い合わせ先）

国土交通省 四国地方整備局 道路部道路計画課

電話 087-811-8322（直通）

課長 檜田 幸伸

（内線）4211

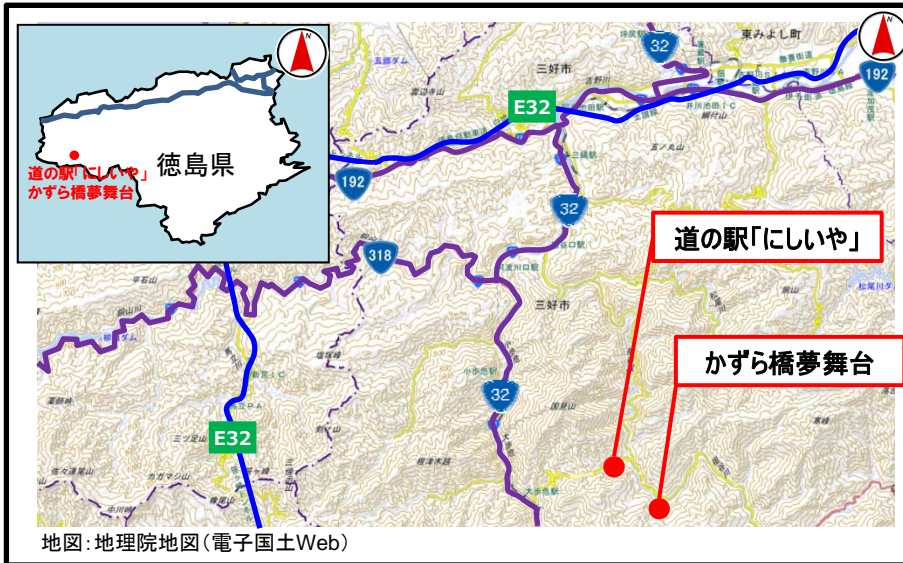
○ 課長補佐 黒口 貴弘

（内線）4215

道の駅「にしいや」・かずら橋夢舞台を拠点とした自動運転サービス  
地域実験協議会 委員名簿（案）

委員	所属
豊田 三佳	立教大学 観光学部 交流文化学科 教授
奥嶋 政嗣	徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 准教授
倉内 慎也	愛媛大学大学院 理工学研究科 准教授
寺澤 文彦	徳島県 県土整備部 道路整備課長
重本 誠司	徳島県 西部総合県民局 県土整備部長
斎藤 英司	三好市 産業観光部長
松林 修治	三好市 建設部長
猪岡 初	三好市 西祖谷支所長
山上 直樹	徳島県警察本部 交通部 参事官兼交通企画課長
川井 勝治	徳島県警察本部 交通部 交通規制課長
西岡 寿典	徳島県警察 三好警察署長
藤堂 興宏	道の駅「にしいや」 運營業務受託者 代表者
中島 希	ホテル秘境の湯 指定管理者 代表者
西下 正人	かずら橋夢舞台 指定管理者 代表者
藤堂 竜也	祖谷ふれあい公園 指定管理者 代表者
福山 尚久	アイサンテクノロジー(株) MMS事業本部 3Dソリューション事業部 部長代理
檜田 幸伸	国土交通省 四国地方整備局 道路部 道路計画課長
島本 和仁	国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所長
近藤 准一	国土交通省 四国運輸局 自動車技術安全部 技術課長
西山 修三	国土交通省 四国運輸局 徳島運輸支局長
吉田 秀範	国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 高度道路交通システム研究室 室長

## 《位置図》



## 《拠点の特徴》

道の駅「にしいや」は、日本三大秘境、祖谷溪谷の中央部に設けられた道の駅で、名物「祖谷そば」の立ち食いや、地域の特産品の販売などを行っています。



※写真はイメージです  
祖谷そば



特産品の販売

## 《拠点の概要》

### 《道の駅「にしいや」》

- 設置者：三好市
- 所在地：徳島県三好市西祖谷  
山村尾井ノ内348-2
- 路線名：県道 西祖谷山山城線
- 管理者：三好市
- 供 用：平成10年8月1日



### 《かずら橋夢舞台》

- 設置者：三好市（旧西祖谷山村）
- 所在地：徳島県三好市西祖谷  
山村今久保345-1
- 路線名：県道 山城東祖谷山線
- 管理者：（株）にしいや  
※指定管理者
- 供 用：平成18年3月1日



祖谷のかずら橋

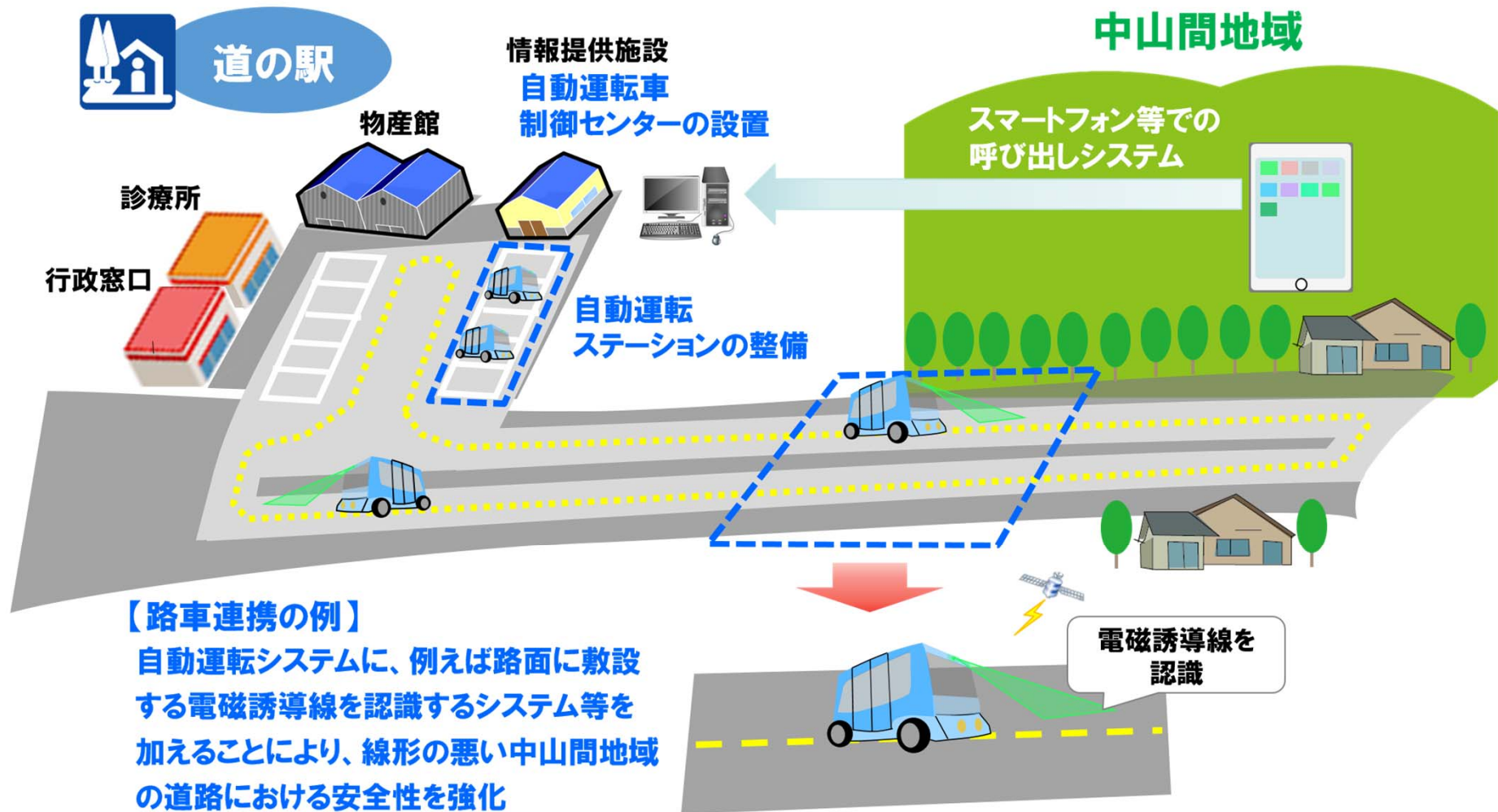


祖谷平家まつり

かずら橋夢舞台は、「祖谷のかずら橋」観光の拠点となる施設で、郷土料理の提供、物産コーナーなどがあり、イベント広場では「祖谷平家まつり」などが開催されています。



●高齢化が進行する中山間地域において、人流・物流を確保するため、「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスを路車連携で社会実験・実装する。



物流の確保  
(宅配便・農産物の集出荷等)

貨客混載

生活の足の確保  
(買物・病院、公共サービス等)

地域の活性化  
(観光・働く場の創造等)

全国13箇所で順次実験開始(9/2~)